

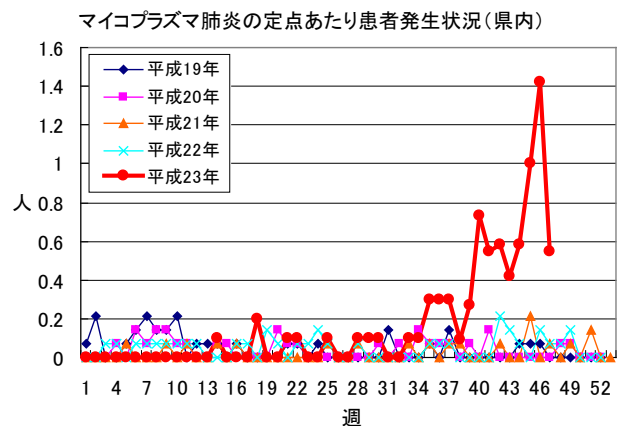
全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

定点把握感染症(指定された医療機関から報告をを求める感染症です)

マイコプラズマ肺炎

定点あたり患者数は今週 **0.55人**(先週は1.42人)と減少しましたが、依然例年に比べて患者数の多い状態が続いています。全国的にも患者数が多く、注意が必要です。

マイコプラズマ肺炎は肺炎マイコプラズマを病原体とする呼吸器感染症で、感染患者からの飛沫感染や接触感染により伝播するといわれています。特異的な予防方法はありませんが、流行期には手洗い、うがいなどの一般的な予防方法の励行と、患者との濃厚接触をさけることが重要です。



インフルエンザ

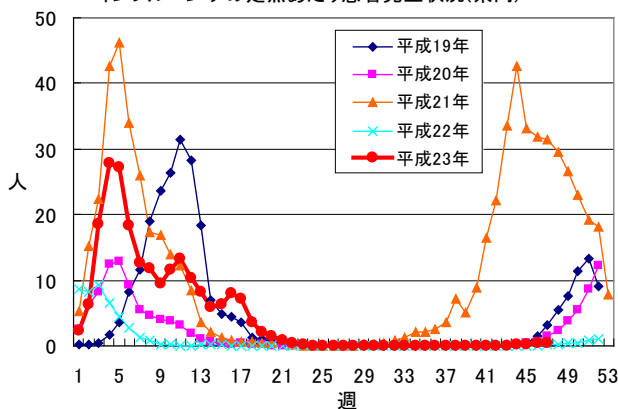
インフルエンザの定点あたり患者数は今週 **0.36人**(先週0.43人)とやや減少しました。地域的にみると、神戸市が流行開始の目安とされる定点あたり1人以上となっています。

インフルエンザによる学校臨時休業情報では、神戸市内の幼稚園2園と小学校1校で学級閉鎖が、それぞれ報告されています。

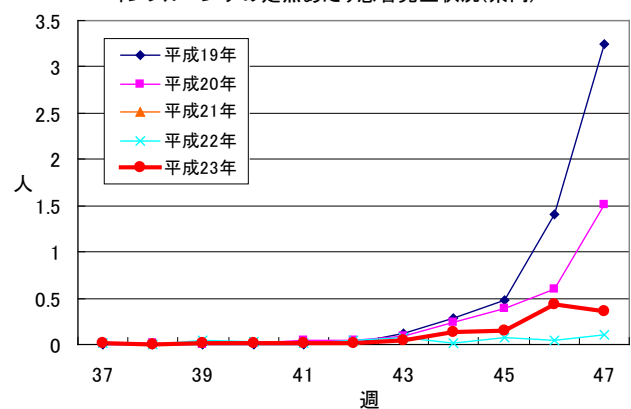
当研究所では今シーズン、洲本保健所管内の患者10名の検体から9件のAH3(A香港型)のインフルエンザウイルスを検出しています。

インフルエンザの予防として、手洗い、うがい、咳エチケットの励行、マスクの着用など、インフルエンザに罹らない、広げない対策が重要です。また、感染が疑われる場合は早めの受診が重要です。

インフルエンザの定点あたり患者発生状況(県内)



インフルエンザの定点あたり患者発生状況(県内)



(左のグラフを部分的に拡大しています)

定点あたり患者数の上位10位の疾病

	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	感染性胃腸炎	4.86	4.88	-0.02	6位	流行性耳下腺炎	0.60	0.50	+0.10
2位	水痘	1.76	1.38	+0.38	7位	マイコプラズマ肺炎	0.55	1.42	-0.87
3位	手足口病	1.11	1.34	-0.23	8位	突発性発しん	0.45	0.52	-0.07
4位	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	0.96	1.12	-0.16	9位	インフルエンザ	0.36	0.43	-0.07
5位	RSウイルス感染症	0.68	0.42	+0.26		クラミジア肺炎	0.36	0.00	+0.36

全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

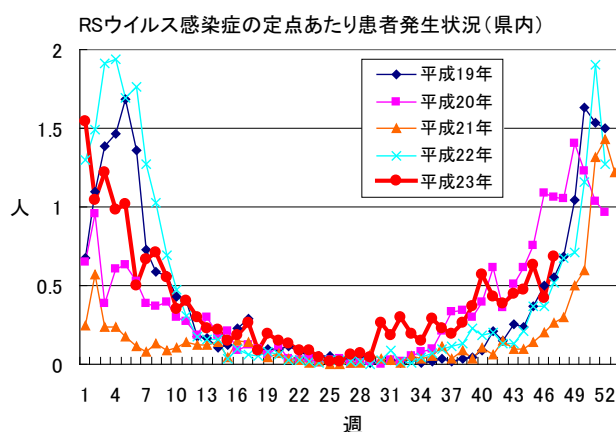
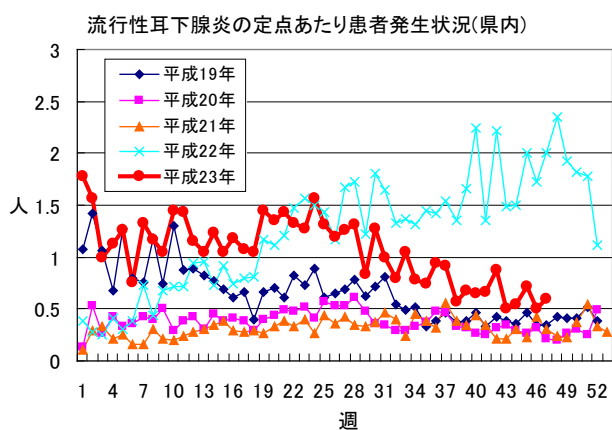
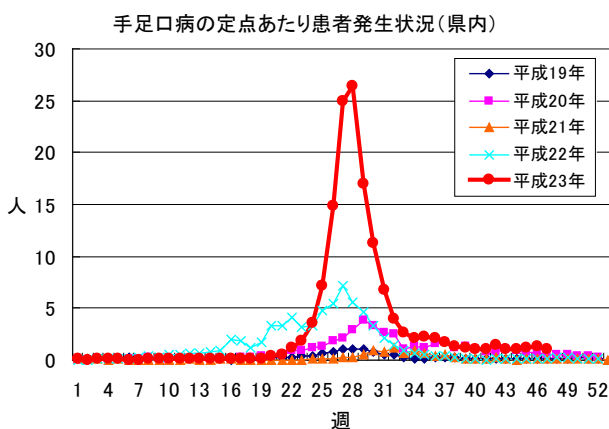
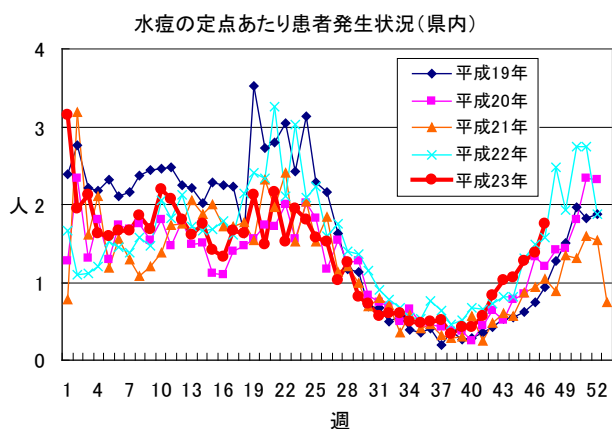
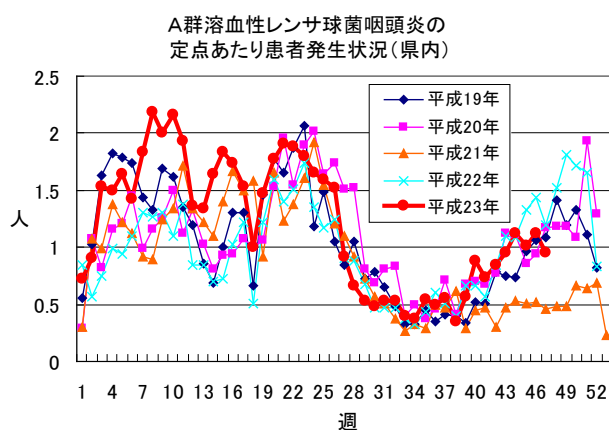
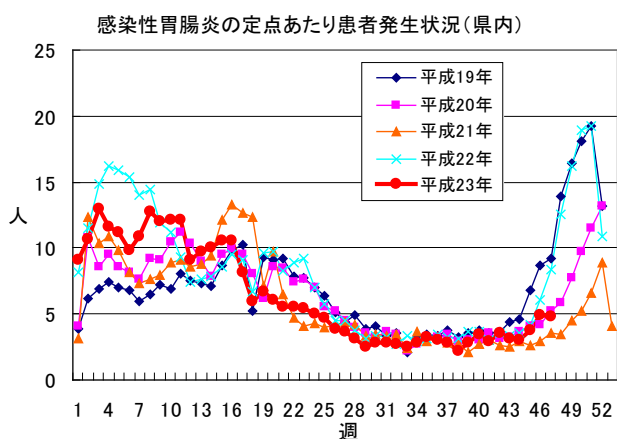
1類感染症	報告はありません。
2類感染症	結核 16名 （神戸市6名、尼崎市1名、西宮市3名、芦屋保健所管内1名、伊丹保健所管内2名、明石保健所管内1名、加東保健所管内1名、龍野保健所管内1名）
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 2名 （有症者2名、うちHUS1名） （神戸市；HUS女性7歳、尼崎市；O157 VT1+ VT2+ 男性4歳） （累積報告数114名；有症者93名、うちHUS3名）
4類感染症	レジオネラ症 1名 （加古川保健所管内；肺炎型 男性50歳代 感染地域；兵庫県、感染経路；不明）
5類感染症	報告はありません。
追加報告	結核 4名 （尼崎市2名、龍野保健所管内1名、洲本保健所管内1名）

検査情報（兵庫県立健康生活科学研究所：健康科学研究センター）

尼崎市内の医療機関で7～8月に採取された検体から検出された病原体です。

マイコプラズマ肺炎患者（1歳）から**マイコプラズマニューモニエ**が検出されました。無菌性髄膜炎患者（3歳）から**エコーウイルス6型**が検出されました。肺炎患者（5歳）、気管支炎を伴った気管支喘息患者2名（2歳、3歳）、咽頭炎患者（0歳）、上気道炎疑い患者（4歳）から**ライノウイルス**が検出されました。細気管支炎患者（0歳）、気管支炎を起こしたネフローゼ症候群患者（2歳）から**RSウイルス**が検出されました。咽頭炎患者（0歳）、発熱患者（0歳）から**パレコウイルス3型**が検出されました。腸重積を伴った胃腸炎患者（0歳）から**コクサッキーウイルスB2型**が、肺炎患者（6歳男）から**コクサッキーウイルスB4型**が検出されました。

目で見える動向（県内）



この週報は兵庫県立健康生活科学研究所：健康科学研究センターホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。

また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報（IDWR）がダウンロードできます。